

Cisco EnergyWise 管理のための SSH によって MacBook アセットを追加して下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[MacBook の SSH を設定して下さい](#)

[CEM に SSH アセット コネクタを追加して下さい](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[よくある 問題ログ](#)

[固定する方法](#)

概要

この資料にセキュア シェル (SSH) によって Cisco EnergyWise 管理 (CEM) の MacBook ホスト アセットを追加する方法を記述されています。

Apple MacBook デバイスのようないくつかのアセットは SSH によって情報を検索します。アプリケーションはアセットで SSH によってシステムにアクセスするために設定される定型 資源 識別子 (URI) および資格情報を使用します。グローバル オプションはすべてのアセットに適用します。

前提条件

要件

Cisco は作動中 CEM サーバおよびコントローラがあることを推奨します。

使用するコンポーネント

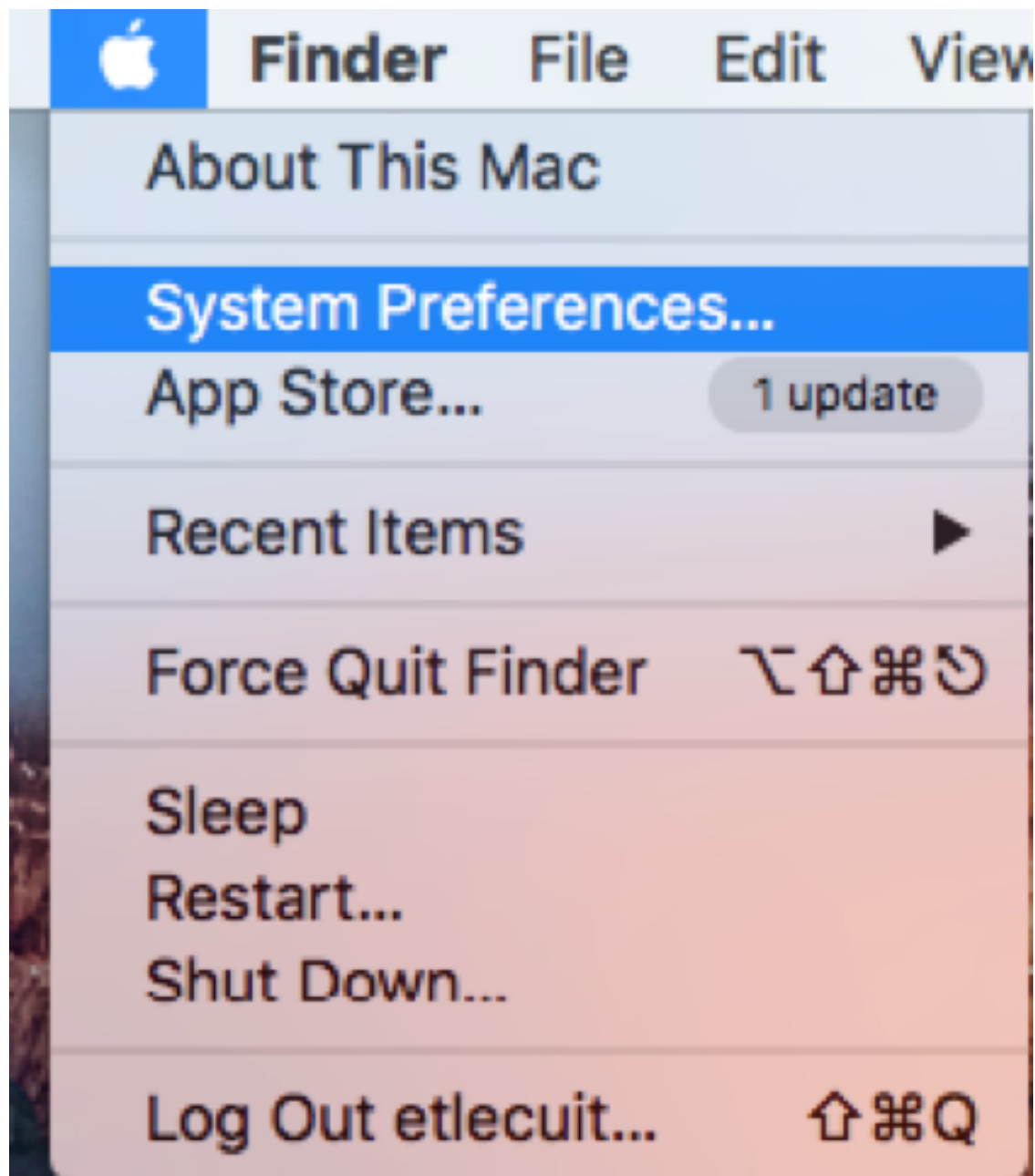
このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- MacBook ハードウェア
- CEM サーバ

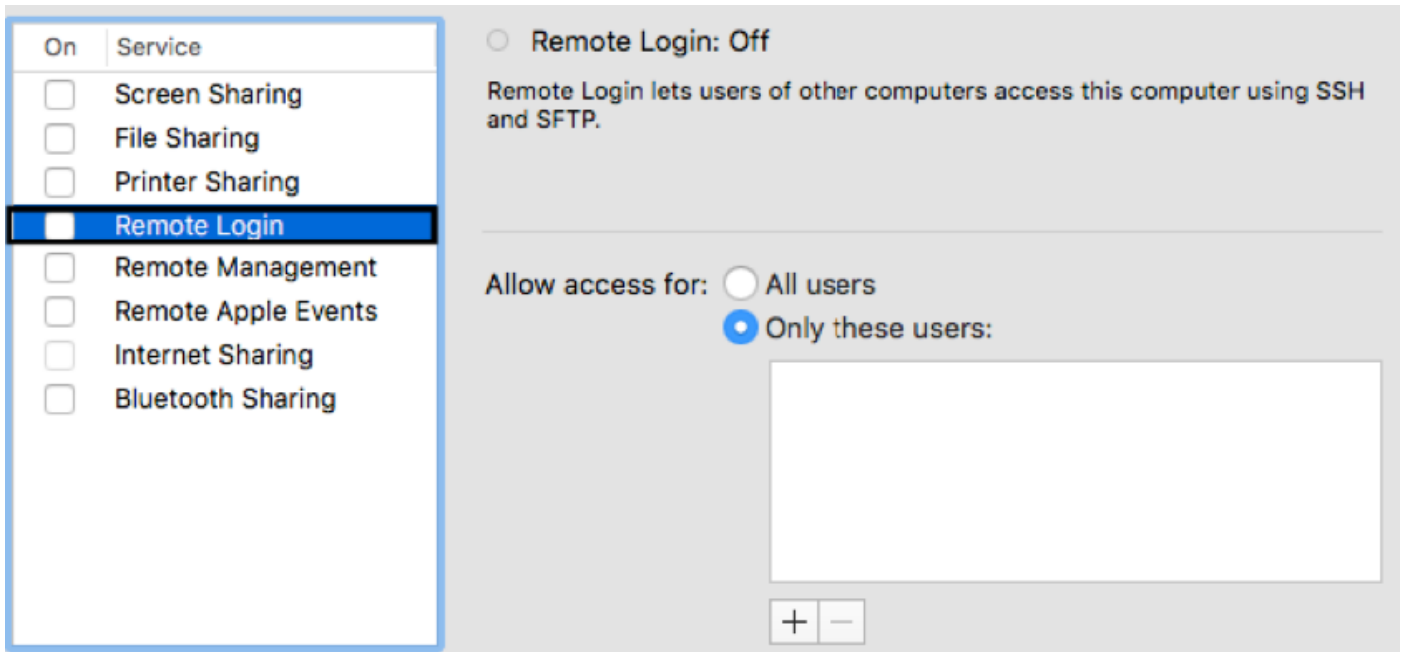
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

MacBook の SSH を設定して下さい

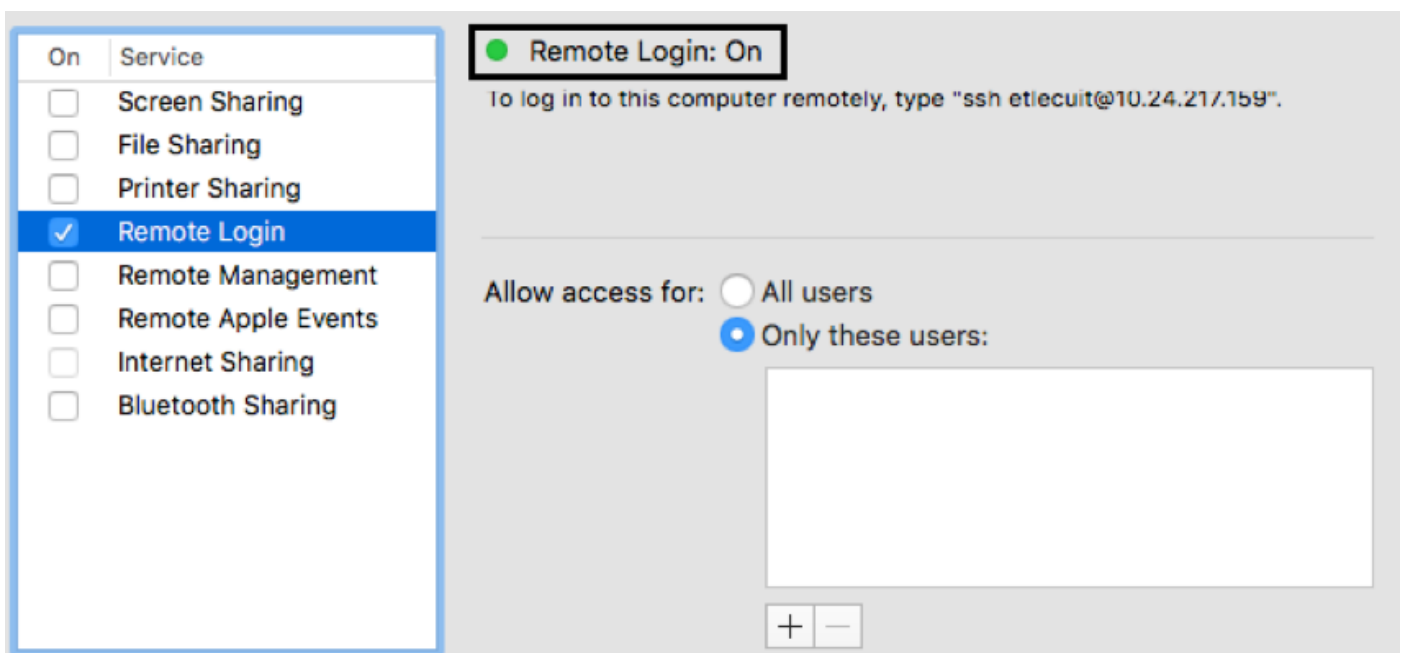
MacBook ホストの SSH を有効に して下さい。 Apple > システム ユーザー設定へのナビゲート > 共有します。



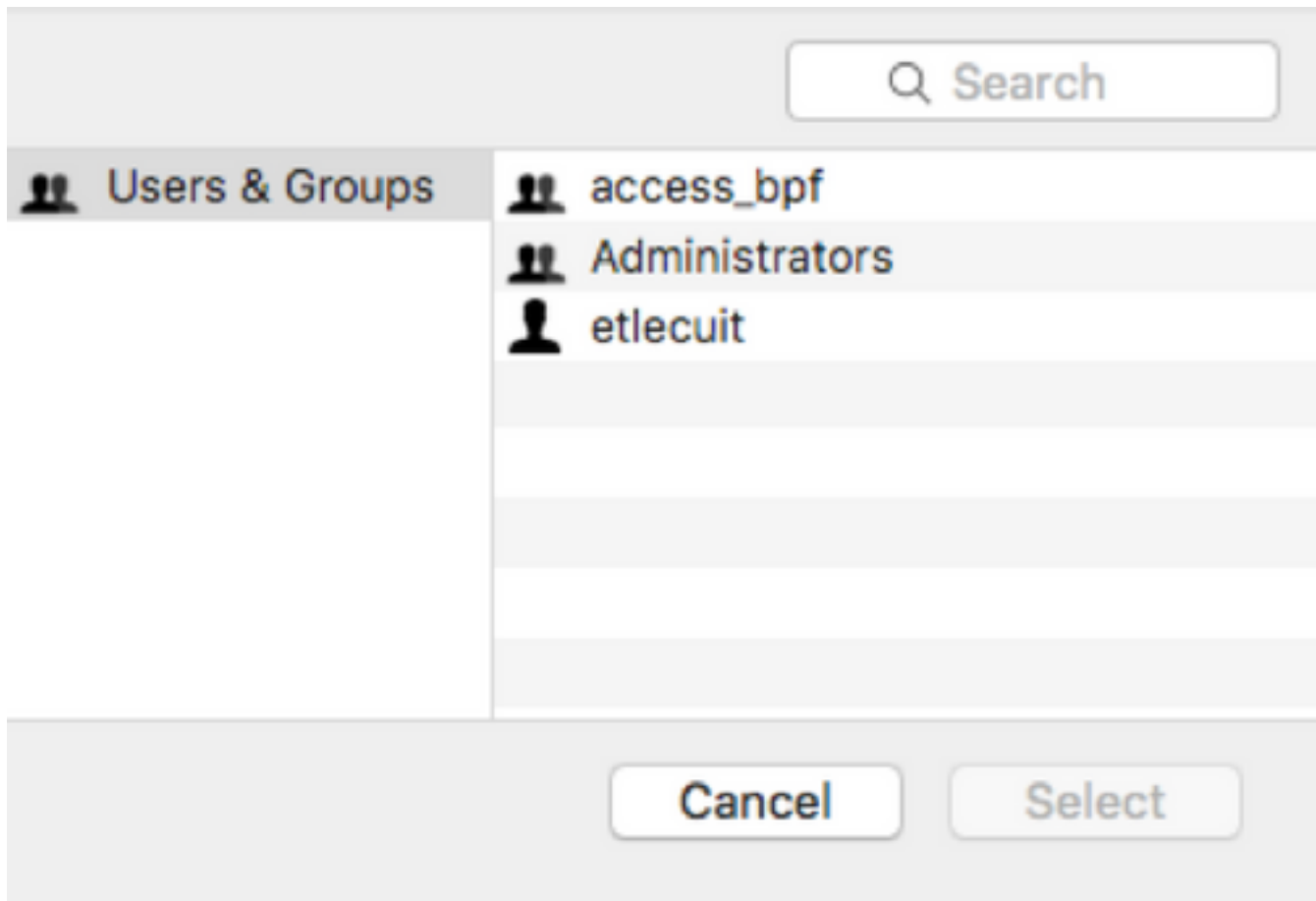
サービスを『Remote Login』を選択して下さい。



リモート ログイン サービスはからに変更されます。

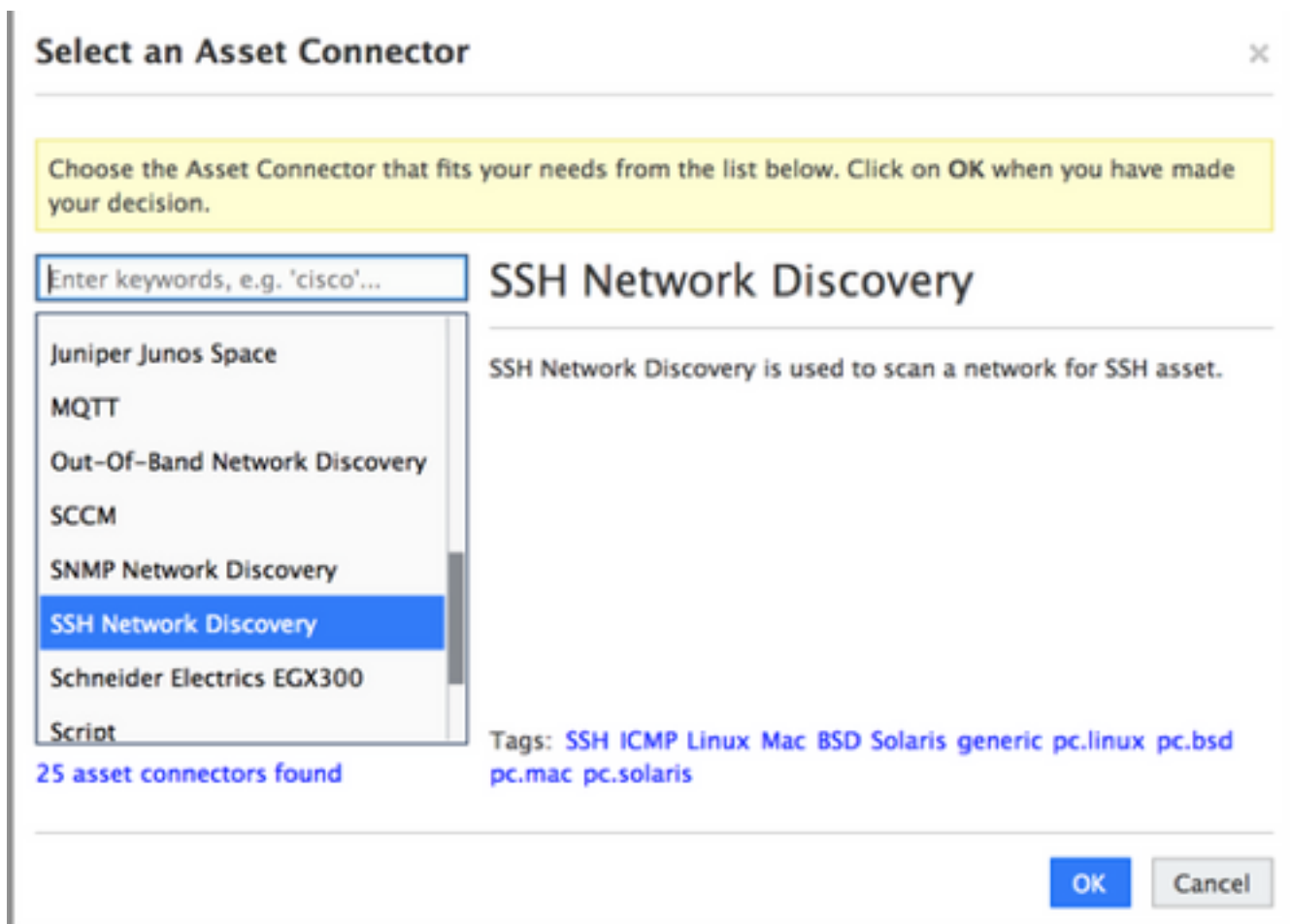


特定のユーザにリモート ログインを許可して下さい:



CEM に SSH アセット コネクタを追加して下さい

CEM では、アセット コネクタ > SSH ネットワーク開発はアセット > インポート > Add にナビゲートします。



接続および資格情報 情報を一杯にして下さい。 資格情報ヒントは MacBook ホストのためのユーザ名およびパスワードです。

検証

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

アセット > 外観へのナビゲート。

●	---	25.0 W	████████████████████	ETLECUIT-M-22EH	monitor	
●	---	46.3 W	██████████	ETLECUIT-M-22EH	pc.mac	
●	---	61.0 W	10 10 10 1			

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

サーバ ハードディスク ユニット C > Program Files > Cisco エネルギー管理コントローラへのナビゲートは > 記録 します。

このフォルダに、コントローラ ファイルを開いて下さい。

よくある 問題ログ

不適切なパスワード: パスワードを不正確に設定したときに、このログはコントローラ ファイル

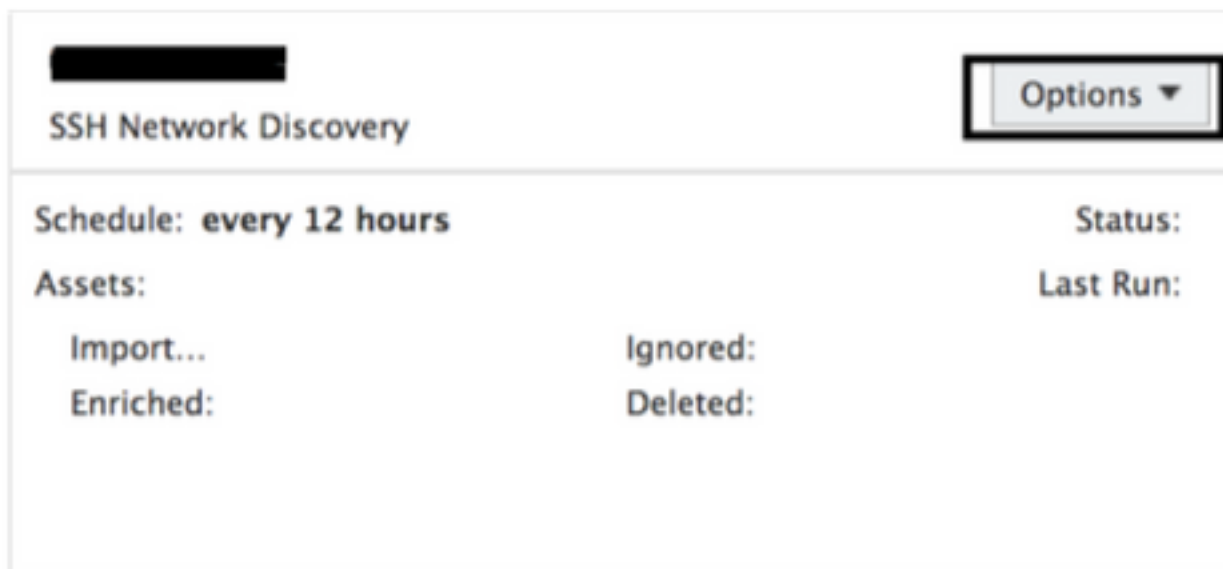
で保存されます:

INFO ASSET_CONNECTOR SSH デバイスの発見概略-スキャンされた IP: 1 ping 可能な IP: 1 到達可能 ポート: 1 既にインポートされた IP: エラーの 0 IP、ポートおよび資格情報組み合わせ: 1

固定する方法

CEM インターフェイス **アセット** > **インポート** の SSH 資格情報を再構成して下さい。

> **Edit** > **資格情報** を『Options』を選択して下さい



SSH Network Discovery

Options ▾

Schedule: every 12 hours

Assets:

Import... Ignored:

Enriched: Deleted:

Status:

Last Run: